

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890500022
法人名	株式会社 お茶屋の里
事業所名	グループホーム 上の茶屋
所在地	愛媛県新居浜市西の土居町二丁目 8 番 1 5 号
自己評価作成日	平成21年11月15日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年11月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>「いつも笑顔で穏やかな暮らし」の理念通り、利用者と職員の笑顔を絶やさないようにしている。利用者・職員が家族のように信頼関係ができるようにしている。出掛けられる間は、いろいろなところへ出掛けていきたい。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>クリスマス・敬老会等の行事ごとと合わせて家族会を開催されており、今年は、「いもたき」をご家族と一緒に作って食べるような取り組みをされ、家族同士の交流もできてたいへん喜ばれた。運営推進会議では、事業所の現状や行事開催時の様子、今後の予定について報告されたり、地域との関わり等についても議題に上げて、相談や話し合いをされている。公民館長・民生委員の方から校区のボランティア団体を教えていただき、外出時や「手作りクッキングの日」等、月1回程度ボランティアに来てもらえるようになった。居間のテーブルにはアルバムやお手玉・トランプ等が手に取れるように置かれてあり、調査訪問時には、利用者の方に遊び方を教えていただいた。居室入口の名札とともに、個々に違う目印が工夫されていた。テラスで職員と一緒に洗濯物を干す利用者の姿も見られた。</p>
--

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム 上の茶屋

(ユニット名) 桔梗

記入者(管理者)
氏名 安部 直子

評価完了日 平成 21 年 11 月 15 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			「地域と交流をもちながら楽しく暮らせるように」という理念のもと、利用者が地域の中にどんどん出かけるように支援している。	
			(外部評価)	
			玄関ホールに「法人の基本理念」と「事業所の理念」を掲示し、日々の申し送り時等には、理念に触れながら話し合われている。日頃より地域の人やボランティアの人等に挨拶したり、声かけをするよう心がけておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			事業所全体としても地域の中で暮らしていけるように定期的に会に出席したり、イベントに参加したりして日常的に交流している。	
			(外部評価)	
			月に一度、職員が近くの遊歩道等の清掃を行ったり、地域行事にも積極的に参加して交流に努めておられる。ボランティアの受け入れ等から人を介して知り合いの輪が広がり、事業所を訪れる方も増えてきているようである。	現在は、限られた人との交流になりがちのようであるが、管理者は、地域の方も参加できるような「事業所主催の行事」を計画したり、又、「地域の方に着付けボランティアに来てもらい、着物を着る機会も作りたい」と考えておられた。今後もさらに地域の方達との交流を通じて、利用者の暮らしを上げていかれてほしい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			運営推進会議などでは、話をして理解してもらえるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組みを報告している。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>平成21年度より2か月ごとに会議を開催されている。会議では、事業所の現状や行事開催時の様子、今後の予定について報告されたり、地域との関わり等についても議題を上げて、相談や話し合いをされている。公民館長・民生委員の方から校区のボランティア団体を教えていただき、外出時や「手作りクッキングの日」等、月1回程度ボランティアに来てもらえるようになった。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>市担当者とも連絡を密にするようにし、事業所の実情なども報告している。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議に出席される地域包括支援センターの担当者から、サークル・コーラス・紙芝居等の講座の情報が載っている「市の出前講座」の情報をいただいた。介護相談員は、2か月に1回訪問があり、利用者の口腔ケアについて等、相談員の方が気付いたことを伝えてくださり、取り組みにつなげておられる。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体拘束をしないケアに努めているが、正しい理解を職員全員がしているとはいえない。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>気ままに出られる方がいるために、事業所では現在、職員が手薄になる夕方5時半から翌朝8時半まで、玄関は施錠されている。管理者は、職員に「玄関センサーの音を気にかけたり、2つのユニットで協力し合い見守りする」こと等を伝えておられる。又、職員の利用者への気になるような言葉かけ等には、その都度話し合うようにされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ミーティングなどで折りにふれ話をしている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 管理者は研修を受けているが、職員は学ぶ機会をもっていない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時は、利用者・家族に契約書と重要事項を説明して納得してもらえるよう努めている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時にはご意見・ご要望がないかお聞きしている。意見箱の設置もしている。 (外部評価) ご家族の来訪時や電話等で要望や意見を聞いておられる。クリスマス・敬老会等の行事ごとと合わせて家族会を開催されており、今年は、「いもたき」をご家族と一緒に作って食べるような取り組みをされ、家族同士の交流もできてたいへん喜ばれた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	日頃より職員の話に耳を傾け、意見や提案などを反映できるようにしている。	
			(外部評価)		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	代表者は日頃より管理者や職員の話をよく聞いており、個々の勤務状況を把握しており、職場の環境条件の整備に努めている。	
			(外部評価)		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	代表者は管理者により職員の1人ひとりの力量などを把握し、研修なども受けるよう勤めている。	
			(外部評価)		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	グループホーム協会に入っており、研修他相互研修などで交流を図り、他の施設なども訪問させてもらっている。	
			(外部評価)		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	利用するまでに本人に会い情報を得ている。本人の要望を聞いて納得してもらって、安心して暮らしていただくように努めている。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	(自己評価)	
			<p>利用開始前より家族の困っていること、心配なことをよく聞いて、不安なく過ごせるように努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	(自己評価)	
			<p>相談内容から状況を判断し、本人が必要としているサービスを検討し、家族に確認してからサービスを提供している。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	(自己評価)	
			<p>利用者は人生の先輩と尊敬し、一緒に過ごす家族のような関係を築くようにしている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	(自己評価)	
			<p>家族により考え方が違うところもあるが、共に支えていく関係を築いていき信頼関係を築くようにしている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	(自己評価)	
			<p>馴染みの人が訪ねて来られたり、その人のことを一緒に話をしたり、家族より話を聴いてみたりして関係が継続するように努めている。</p>	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	利用者それぞれの状況を踏まえ、職員が間に入ったり声かけをしながら孤立することのないように努めている。
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	退所された方より、相談があれば支援するようにしているが、こちらからは積極的に交流はもっていない。
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	利用者それぞれの思いを汲み取るように努めているが、困難な場合は、家族も含め話し合い、納得してもらえる方法をとるように努めている。
			(外部評価)	
			アセスメントシートの一つに職員の「気付き・アイデアシート」があり、日々利用者とかかわる中から情報を集めて、支援にどのようにつなげていくか話し合われている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	本人・家族より話を聴き、意向に沿うようにカンファレンスを行い、サービス提供に努めている。
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	1人ひとりの身体状況や生活リズムを把握し、日々の状態の変化も気付けるように努めている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人の状況、有する力の変化などを家族、かかりつけ医師と相談しながらカンファレンスを行い計画を立てている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>「ケアプラン担当者会議」は半年ごとに行い、計画の実施・達成状況等を確認して、ご本人・ご家族の希望も聞きながら介護計画を見直されている。</p>	<p>利用者個々の思いや意向に沿った、ご本人の現状に即した介護計画の作成が期待される。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の様子、ケアの実践など個別に記入し、職員間で情報の共有するようにしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族とも連絡を密にし、その時々その人それぞれのニーズに対応できるようにしている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域の人達によるボランティアや慰問などを受け入れ地域の中で共に暮らしていけるように支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	(自己評価)	
			<p>本人や家族が希望するかかりつけ医との関係を築きな がら、受診できるようにしている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>定期受診はご家族が同行されているが、ご家族の都合 に合わせて職員が同行されることもある。薬の変更や 検査結果等は、ご家族とも連絡し合っておられる。月 2回、協力医が往診に来てくれている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	(自己評価)	
			<p>看護師はホームにはいないので、かかりつけの医師に 相談して受診、服薬などの支援をしている。</p>	
			(外部評価)	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	(自己評価)	
			<p>本人・家族が安心できるように、様子を見に行っ たり、病院関係者との情報交換もしている。</p>	
			(外部評価)	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>重度化していった場合、かかりつけの医師や家族と今 後のあり方についても相談し、今後の支援について相 談している。</p>	
			(外部評価)	
			<p>事業所では、入院した時等の機会を捉え、重度化した 場合や終末期のあり方について、ご家族の要望や意見 を個々に聞いておられる途中である。管理者は「胃ろ うや経管栄養になるとホームでの生活はむづかしく、 食事が摂れなくなり、常時、点滴が必要になると退居 になる」と話されていた。</p>	<p>今後は「入居時、ご本人やご家族に看取り支援につい ての希望を聞いていきたい」と考えておられた。事業 所の支援について指針等を示され、ご家族の希望をお 聞きする等、ご本人主体の支援ができるよう、話し合 いを行って行かれてほしい。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 勉強会などで知識を身につけるようにはしているが、職員の入れ替わりもあり、全ての職員が力をつけているわけではない。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 定期的に避難訓練はしている。地域での訓練にも利用者と共に参加はしているが、地域の人に参加しての訓練はまだ行っていない。 (外部評価) 校区の災害訓練には利用者3名と職員が参加され、煙が立ち込める中での避難の仕方等を体験して学ばれた。消防署の方より地震時の対応についてのお話も聞かれた。	管理者は、「地震が起こった時の対応マニュアル」を作成したいと考えておられる。又、今後事業所で避難訓練等実施する際には、地元消防団・近所の方に参加を呼びかけ参加いただいたり、夜間を想定しての訓練を実施したり、台風時等には夜間に職員を増やして、体制作りを強化したいと考えておられた。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 1人ひとりを尊重し、プライバシーも確保するようにしているが、耳の聞こえない方などにはつい大きな声で声かけをしてしまうこともあるので気を付けていきたい。 (外部評価) 職員は、利用者の安全等に十分気を付けて関わることを心がけておられるが、排泄支援時の職員の対応等、利用者へのプライバシーへの配慮が必要と感じる場面も見受けられた。	トイレの扉や職員の対応等、ご本人の立場に立って、点検したり、話し合う機会にされてほしい。職員の気付いたことをきっかけにして、ケアの質の向上を目指して行かれてほしい。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) その人に応じて、思いや希望を表せるように、声をかけたり話をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 基本的な生活のリズムでは過ごしてもらっているが、その人なりのペースを尊重し、一日を過ごしてもらっている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 希望の理美容院に行ってもらったり、カットなどもご自分の意志を尊重してもらっている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 職員と一緒に食事をしてもらい、好みのものやそうでないものも美味しく食べられるように工夫し、食べてもらえるように支援している。 (外部評価) 食事は、ご飯はホームで炊くようになっているが、その他は法人内で調理されたものが届くようになっている。刻んだり、とろみを付ける等、利用者個々の嚥下状態に応じて事業所で食べやすくされている。毎月「給食検討委員会」が行われており、管理者はメニューの要望や感想等を伝えておられる。月1回「手作りクッキングの日」を設け、希望のメニューを申し出しておく食材が届くようになっており、利用者と食事を作って食べる日がある。月2回ほどは、おやつも作っておられる。	法人の方針で現在は、給食となっているが、「食事を楽しむことのできる支援」について、事業所で工夫できることはないか話し合わせてほしい。利用者とともに食事を作る回数を増やしたり、利用者の好みや力を活かしながら、利用者が主体の生活を支援していかれてほしい。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量や水分量など、記録して、1人ひとりがバランス良く摂取できるように支援している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、その人にあった口腔ケアをしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄の記録もつけて、1人ひとりのパターンを活かし、トイレで排泄できるように支援している。 (外部評価) 個々の排泄記録からパターンの把握に努め、声かけや誘導してトイレで排泄できるよう支援されている。紙パンツを使用することで肌がかぶれるような方もあり、日中は失禁パンツで過ごせるよう取り組みをすすめておられる方も数名ある。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) それぞれの便の状態も記録し、便秘解消に向けて食べ物や運動などの働きかけもしている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 毎日入浴できるようにしている。その人に応じて体調や希望などに合わせて入浴してもらっている。 (外部評価) お風呂好きな方は、入浴剤を入れたり、ゆっくり入浴を楽しめるように支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) それぞれの生活習慣や体調に応じて休んでいただけるように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 1人ひとりが使用している薬について理解し、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 利用者の1人ひとりが張りのある生活を送れるように、役割をもってもらったり、気分転換などに合わせて図り、楽しく過ごせるように支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) それぞれの体調や希望に合わせて買い物や散歩に出かけられるように支援している。季節に合わせてお花を見に行ったりする時は、家族や地域のボランティアの人達にも協力してもらっている。	
			(外部評価) 四季折々のお花を見に出かけたり、校区の文化祭・市民文化センターでの演奏会等にも出かけておられる。ご自宅に洋服を取りに戻られたり、ご家族と温泉旅行に行かれる方等もある。	職員は、「日々の散歩等ちょっとした外出の機会を増やし、利用者が気分転換が出来るように組みたい」と考えておられた。利用者が日常の中でちょっと出かけられるような時間や場所を見つけ、外に出る機会を積極的に作っていかれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 利用者の力に応じてお金を持ってもらっており、買い物などにも行けるようにしている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 望みがあれば電話をかけてもらったり、手紙もやり取りされている方もいらっしゃる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 照明や音なども刺激が強くないようにし、玄関には季節の花も植えたり、フロアにも季節感を取り入れて居心地良く過ごせるように工夫している。	
			(外部評価) 玄関前・ホール・居間等、クリスマスの飾りがあちこちに見られた。居間には、日々の写真や行事時の写真がボードに掲示されている。テーブルにはアルバムやお手玉・トランプ等が手に取れるように置かれてあり、調査訪問時には、利用者の方に遊び方を教えていただいた。居室入口の名札とともに、個々に違う目印が工夫されていた。テラスで職員と一緒に洗濯物を干す利用者の姿も見られた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) フロアのあちこちに椅子を置いたり、エントランスで座れたり、共有空間でも1人ひとりの時間がとれるように工夫している。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 本人や家族と相談しながら使い慣れたものを置いたり、配置も過ごしやすいように工夫している。	
			(外部評価) テレビやタンス・椅子等を持ち込んでおられたり、多くの洋服や化粧品等もあり、おしゃれを楽しんでいる様子がうかがえる居室も見られた。又、写真1枚1枚に、ご家族が場所等のコメントを書いて掲示されている居室も見られた。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 移動するスペースなどは安全に確保し、できることを1人でできるような環境を整えるように努めている。	